



一般向け電話相談窓口：予防法などを知りたい人向け

- 市の電話相談窓口（健康課 ☎ 381-6113、☎ 381-6114）
月～金曜日、午前8時30分～午後5時15分
- 厚生労働省の電話相談窓口（☎ 0120-56-5653）
午前9時～午後9時

帰国者・接触者相談センター：気になる症状がある人向け

- 保健予防課（☎ 381-6112）
月～金曜日、午前8時30分～午後9時
- 市総合保健センター総合管理室（☎ 381-6123）
夜間、土・日曜日、祝日

感染や拡大を防ぐために、以下の点にご注意ください

- 石けんを使ってこまめに手洗いをする
- 咳が出るときはマスクやティッシュ、ハンカチなどで口を覆う
- 換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避ける

市内の放射線量（空間・水道水）

市は毎月第2週と4週に、市内120地点で放射線量を測定しています。測定後、国の示す除染基準（面的測定で毎時0.23マイクロシーベルト）を超える地点があった場合は、除染を行います。

3月の空間放射線量（抜粋）（マイクロシーベルト/毎時）

地域	測定場所	地上50cm	地上1m
高崎	高崎市役所本庁	0.04	0.04
	倉賀野幼稚園	0.05	0.05
倉渕	倉渕支所	0.06	0.06
	倉渕小学校	0.05	0.05
箕郷	箕郷支所	0.04	0.04
	箕郷第二保育園	0.05	0.05
群馬	群馬支所	0.04	0.04
	桜山小学校	0.07	0.06
新町	新町支所	0.07	0.07
	新町第二小学校	0.04	0.04
榛名	榛名支所	0.06	0.06
	久留馬小学校	0.08	0.08
吉井	吉井支所	0.06	0.05
	南陽台小学校	0.03	0.03

●測定日=3月第2週 ●全120地点の結果は、市ホームページ「東日本大震災への対応」に掲載 ●問い合わせ先=一般廃棄物対策課（☎321-1253）か各支所地域振興課

水道水の放射性物質（ベクレル/kg）

採水場所	測定日	測定値
若田浄水場ほか 市内の浄水場	3月4日	セシウム134・137 とも不検出

●検査=毎月1回 ●基準値は、セシウム134・137を合わせて10ベクレル/kg ●問い合わせ先=水道局浄水課（☎321-1286）

My City's Angel ~わが家の天使~

岡村 健叶くん
（1歳8か月の男の子）
我が家1番の食いしん坊。いっぱい食べて大きくなってね。
お兄ちゃんとも仲良くね。



- 問い合わせ先
- 保健予防課 ☎027-381-6112
 - 健康課母子保健担当 ☎027-381-6113
 - 健康課健康づくり担当 ☎027-381-6114
 - 箕郷保健センター ☎027-371-9060
 - 群馬保健センター ☎027-373-2764
 - 新町保健センター ☎0274-42-1241
 - 吉井保健センター ☎027-387-1201
 - 榛名・倉渕保健センター ☎027-374-4700

産婦健診費用の一部を助成

市は4月から、出産後の産婦の体調などを確認する、産婦健康診査の費用の一部を助成します。対象は、4月1日以降に産出した市内に住民登録のある女性です。産後2週間後と1か月後に行う健診の費用を、それぞれ4900円を上限に助成します。母子健康手帳と一緒に交付される「産婦健康診査受診票」を医療機関に提出して健診を受けてください。県外の医療機関で出産した場合は、問い合わせ先、健康課母子保健担当へ。

妊娠を希望する人とその家族 風しん抗体検査と予防接種に助成

市は、妊娠を希望する人とその家族を対象に、無料の風しんの抗体検査を行っていただきます。検査の結果、予防接種を受ける必要がある人には、接種費用の一部を助成します。検査を受けるには、事前に申請が必要です。申請は、必要な物を持って市総合保健センター4階保健予防課か各地域の保健センターへ。

●対象Ⅱ検査日に本市に住民登録があり、風しんにかかったことや風しんの抗体検査・予防接種を受けたことがなく、次のいずれかに当てはまる人①妊娠を希望する②妊娠を希望する人の配偶者や同居の家族③風しんの免疫が低いと診断された妊婦の

配偶者や同居の家族 ●助成額 抗体検査Ⅱ全額 麻しん風しん混合ワクチンⅡ5000円 風しんワクチンⅡ3000円 ●必要な物Ⅱ運転免許証など本人確認のできる物と印鑑（③は母子健康手帳の写しと抗体検査の結果が分かる物も） ●申請期間Ⅱ来年3月16日（火）まで

ひきこもりがちな青年を支える 家族のついで

●日時Ⅱ4月28日（火）午後1時30分～3時30分 ●会場Ⅱ市役所9階92会議室 ●内容Ⅱ参加者同士の交流会 ●対象Ⅱ市内に在住の18歳以上でひきこもり状態にある人の家族 ●費用Ⅱ無料 ●申し込みⅡ4月24日（金）までに、障害福祉課（☎321-1358）へ

親子仲よし運動教室



親子で声をかけ合って

●日時Ⅱ5月28日～6月25日の木曜日、午後4時～5時、計5回 ●会場Ⅱ市武道館 ●内容Ⅱ楽しく身体を動かし親子のコミュニケーションを図る ●対象Ⅱ市内に在住が在勤の保護者と3歳以上の未就学児

用Ⅱ無料 ●申し込みⅡ4月27日（月）午前9時30分に、直接シルバークロニクル受付窓口（末広町 ☎370-8832）へ。定員を超えたときはその場で抽選します（代理人は不可、初めての人を優先）

こころの病を抱える人の ストレッチ体操教室

●日時Ⅱ4月21日（火）午前10時～11時30分 ●会場Ⅱ市総合保健センター4階運動室 ●内容Ⅱ楽しく体を動かして、健康増進を図る ●対象Ⅱ市内に在住のうつ病や統合失調症などの人 ●費用Ⅱ無料 ●持ってくる物Ⅱ体育館シューズ、タオル ●申し込みⅡ4月17日（金）までに、障害福祉課（☎321-1358）へ

乳幼児予防接種説明会

●日時Ⅱ4月23日（木）午後2時～3時 ●会場Ⅱ市総合保健センター3階第4会議室 ●対象Ⅱ乳幼児の保護者や妊婦 ●持ってくる物Ⅱ母子健康手帳、筆記用具 ●問い合わせ先Ⅱ保健予防課

こころの健康相談

●日時Ⅱ4月22日（水）午後1時30分～3時30分 ●会場Ⅱ市役所1階障害福祉課 ●内容Ⅱ精神科医師による相談 ●対象Ⅱ市内に在住で心の悩みや不安がある人かその家族 ●定員Ⅱ4人（予約制） ●費用Ⅱ無料 ●申し込みⅡ4月15日（水）までに、障害福祉課（☎321-1358）へ

子どもを望むがん患者の妊孕性温存治療に助成

問い合わせ先=健康課母子保健担当

市は4月から、将来子どもを持ちたいと望む40歳未満のがん患者の妊孕性温存治療にかかった費用の一部を助成します。妊孕性温存治療とは、がんの治療を行う前に、採取した卵子や精子、人工授精で作った受精卵などを凍結して保存する方法で、将来に妊娠や出産の可能性を残すことができます。

●対象=次の①～④の全てに当てはまる人①本市に住民登録のある40歳未満②がんの治療により生殖機能が低下するか失われると医師に診断された③4月1日以降に卵子や卵巣の組織、精子、受精卵の採取・凍結を行ったか、医師の判断で中止した④他の自治体の妊孕性温存治療の助成や、本市の不妊治療の助成を受けていない ●助成回数=1人1回 ●助成の上限額 卵子や卵巣組織の採取・凍結と受精卵の凍結=25

万円 精子の採取・凍結=5万円（手術を伴う場合は25万円） ●申請書の配布場所=市総合保健センター4階健康課か各地域の保健センター。市ホームページからダウンロードもできます ●申し込み=卵子や卵巣の組織、精子、受精卵の採取・凍結を行った日か、医師の判断で中止した日の6か月後の末日までに、申請書に必要書類を添えて健康課か各地域の保健センターへ



凍結保存の維持費にも助成 助成を受けた人が翌年以降に凍結を続ける場合、年間5万円を上限に助成を行います。詳しくは問い合わせ先へ。

き1枚で1組の応募 ●期日Ⅱ5月11日～6月15日の月曜日、計6回 ●コースと時間 午前

60歳以上の人向け アクアエクササイズ